

2021年11月
決済の未来フォーラム
デジタル通貨分科会

決済サービスにおける迅速性の実現
～トヨタファイナンシャルサービスの取組み～

富本 祐輔

トヨタファイナンシャルサービス株式会社
イノベーション本部 副本部長

About me



富本 祐輔

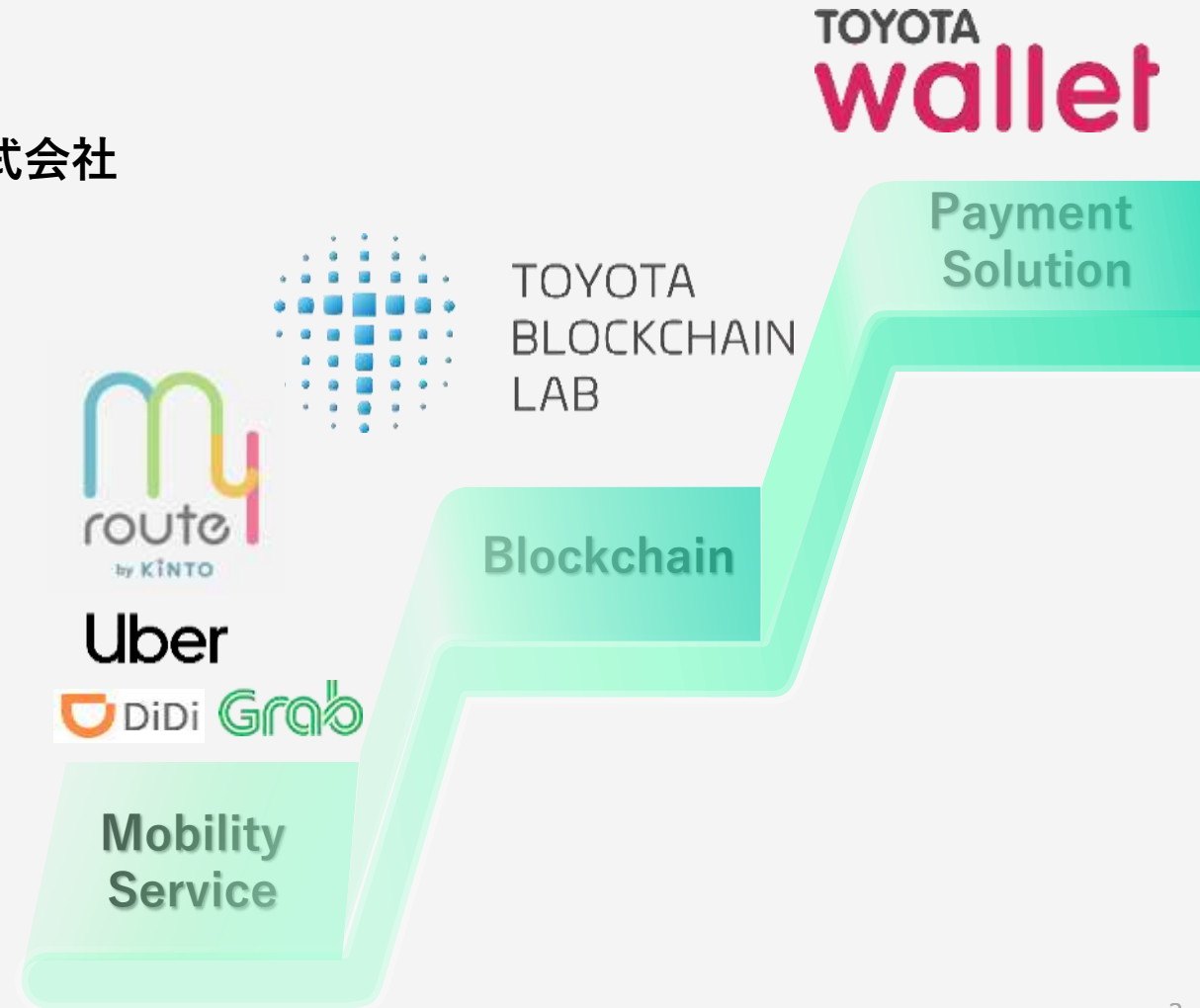
トヨタファイナンシャルサービス株式会社
イノベーション本部 副本部長

[経歴]

- 1991年 東京海上火災保険(株)入社
- 2000年 トヨタファイナンシャルサービス(株)入社
(経営企画グループ, 販売金融グループ,
リスク管理グループ, リテール金融グループ)
- 2016年 Strategic Innovation Division (USA)
チーフオフィサー (~2018)

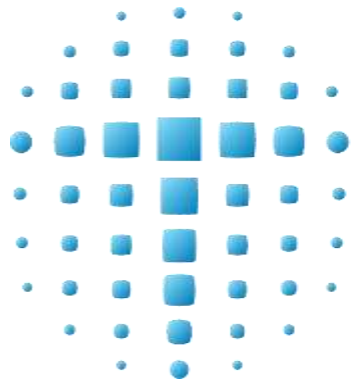
[現職]

- トヨタファイナンシャルサービス(株) イノベーション本部 副本部長
- 同 KINTO企画本部 副本部長
- (株)トランザクション・メディア・ネットワークス 取締役
- SYNQA Pte.Ltd Director
- 内閣官房Trusted Web推進協議会 委員
- 一般社団法人 日本ブロックチェーン協会アドバイザー



トヨタ・ブロックチェーン・ラボの設立

2019年4月、グループ横断のバーチャル組織「トヨタ・ブロックチェーン・ラボ（TBL）」を設立

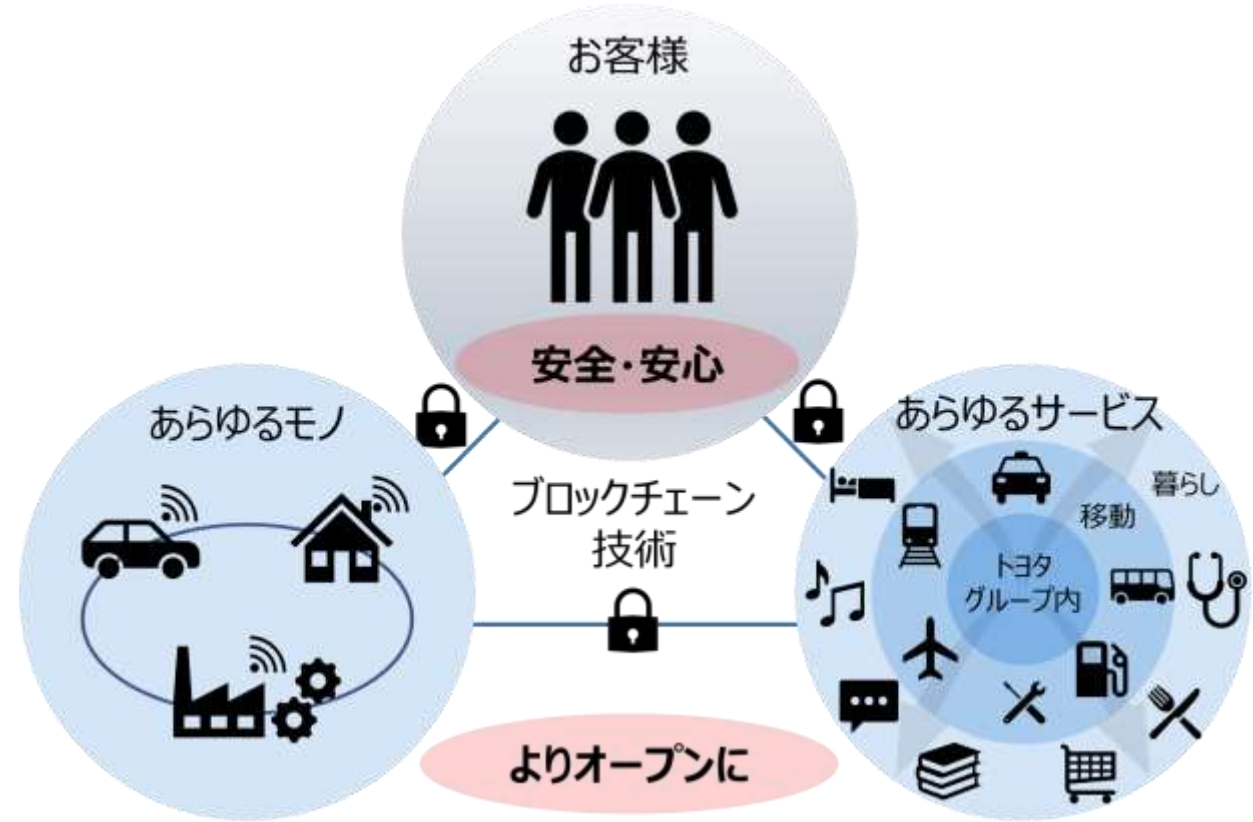


TOYOTA
BLOCKCHAIN
LAB

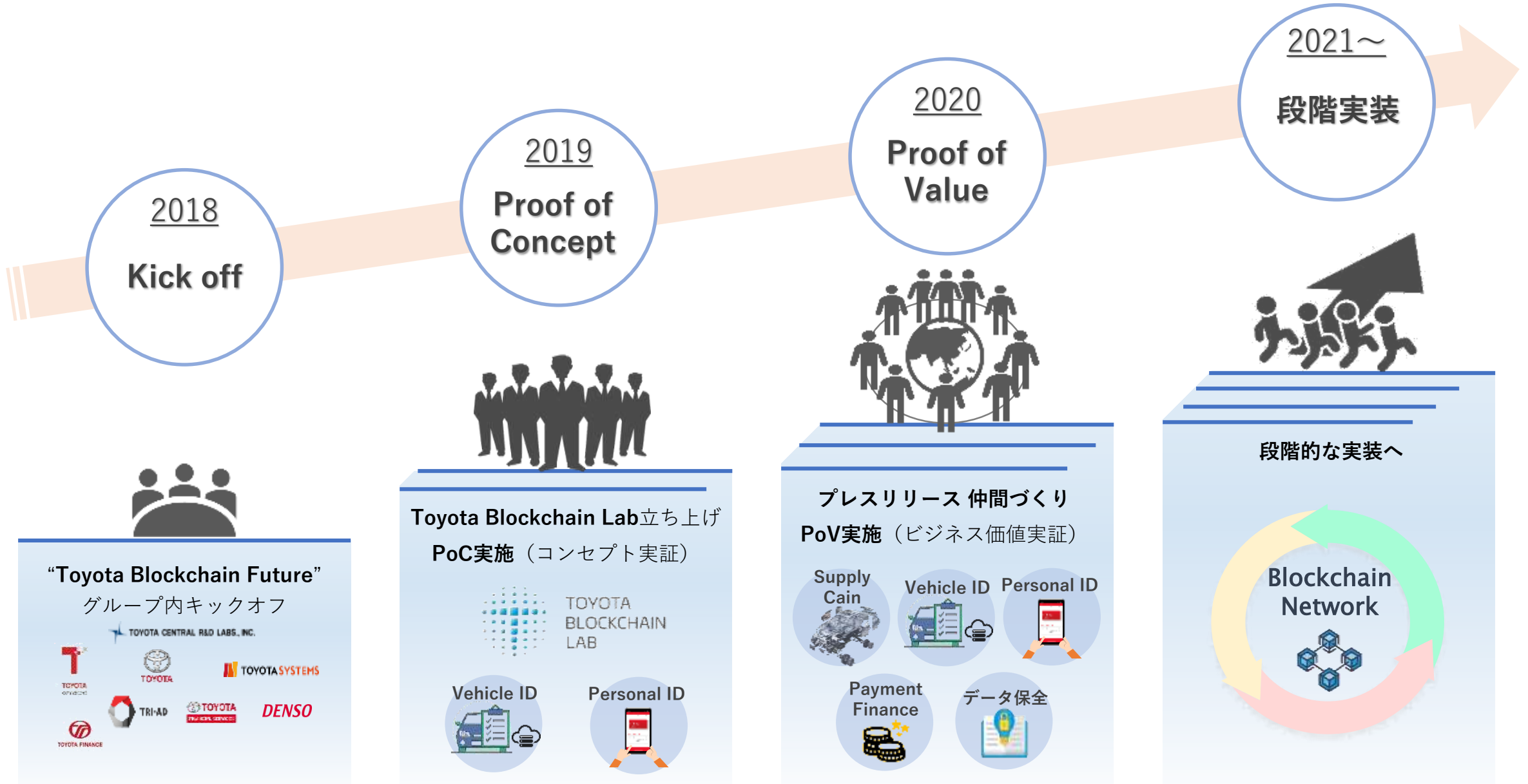
代表幹事会社



幹事会社



トヨタ・ブロックチェーン・ラボの歩み



本日は話すこと

1. 「おカネ」と「取引」両輪でのデジタル化の先

- おカネのデジタル化とサービス・商流等、取引のデジタル化を両輪で進めることで更に価値が高まる
- サプライチェーンにおける実態、それらが繋がることでどのような価値が生まれるか

垂直的共存

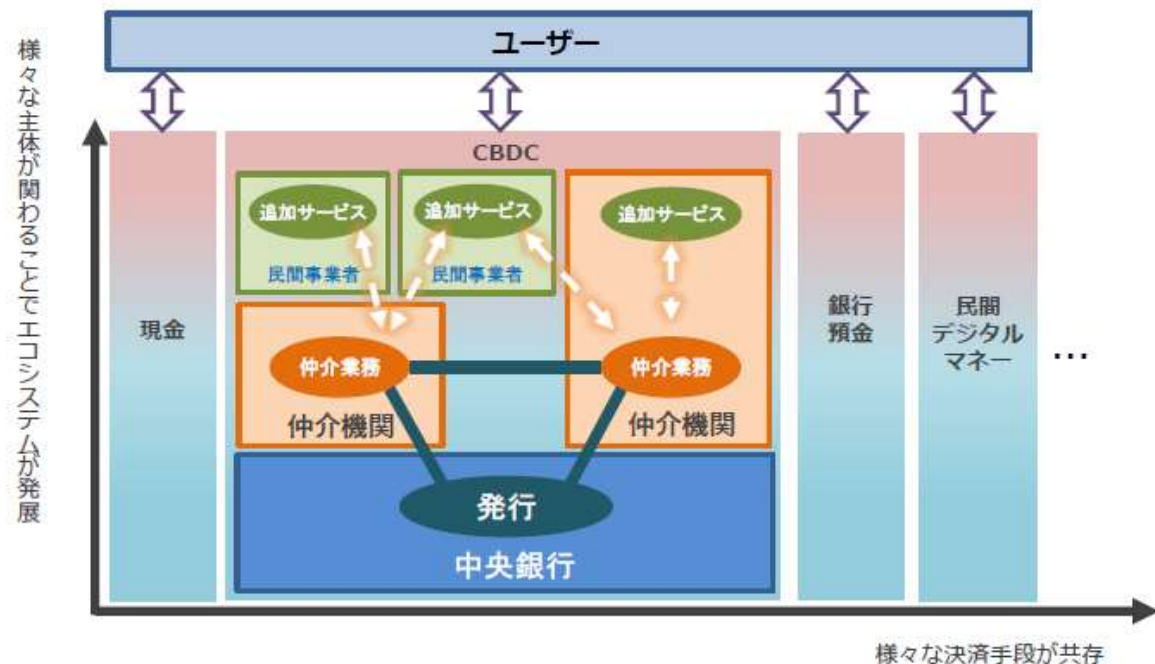
2. CBDCと様々な決済手段の共存のあり方

- CBDCが様々な決済手段と共存し、その「橋渡し」をすることでユーザ体験が向上する
- サービスと様々な決済手段をシームレスに繋げる
TOYOTA Walletを展開する立場から、それらとCBDCでどのような共存のあり方が考えられるか

水平的共存

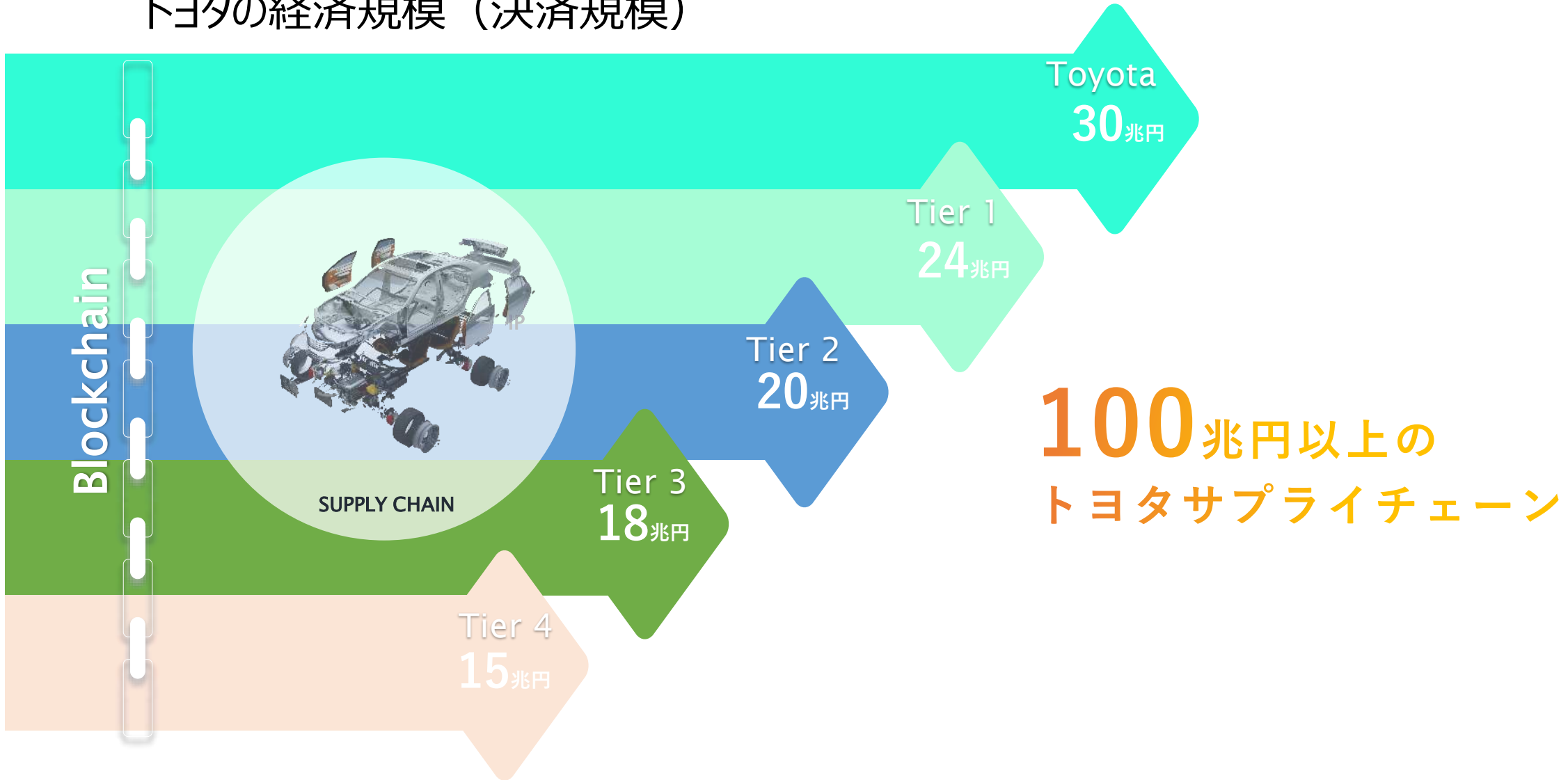
1. 「水平的共存」と「垂直的共存」

- CBDCの導入を検討する際には、水平的な共存（様々な決済手段が機能に応じて役割分担）とともに、垂直的な共存（様々な主体が関わることでCBDCシステムが発展）の実現を目指すことが必要。



トヨタサプライチェーンのポテンシャル

トヨタの経済規模（決済規模）



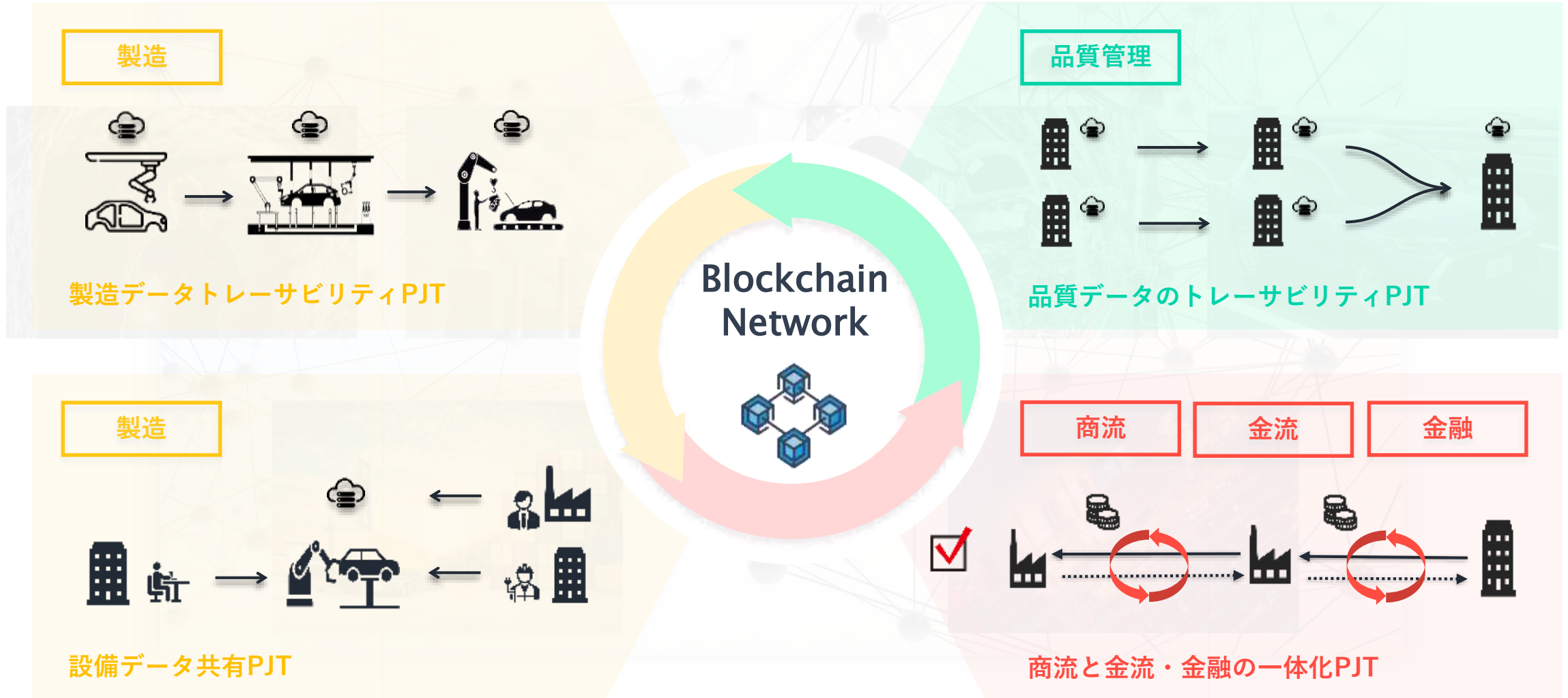
トヨタのサプライチェーン

製造前、多くの人の手を通りクルマが作られている



サプライチェーンにおける取組み

サプライチェーンにおける様々な情報をブロックチェーンを活用し、共有・連携・データ活用
製造、品質管理、商流、金流等のあらゆる領域で、業務効率化、SCM強化を図る



商流・金流・金融の一気通貫でのデジタル化

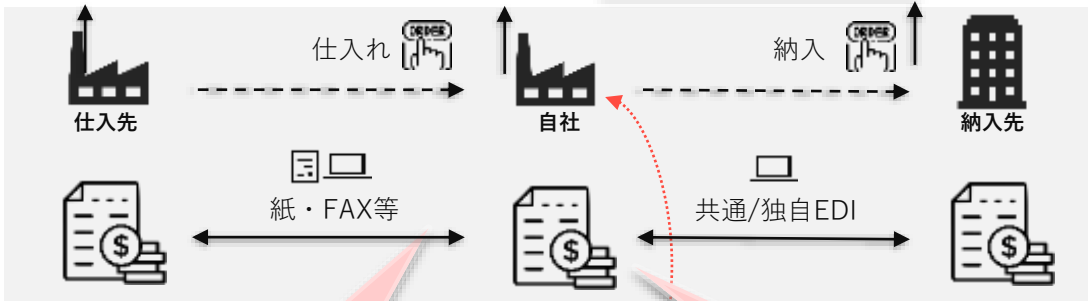
- 商流・金流の一体化 ① & ② : 照合の不要化や商流の状態変化をトリガーにした自動支払など
- 商流データを活用したファイナンス ③ : 商流/金流データを活用した迅速・適正な資金調達

現在の姿

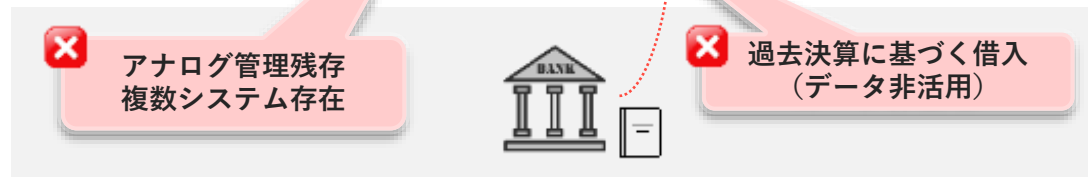
金流



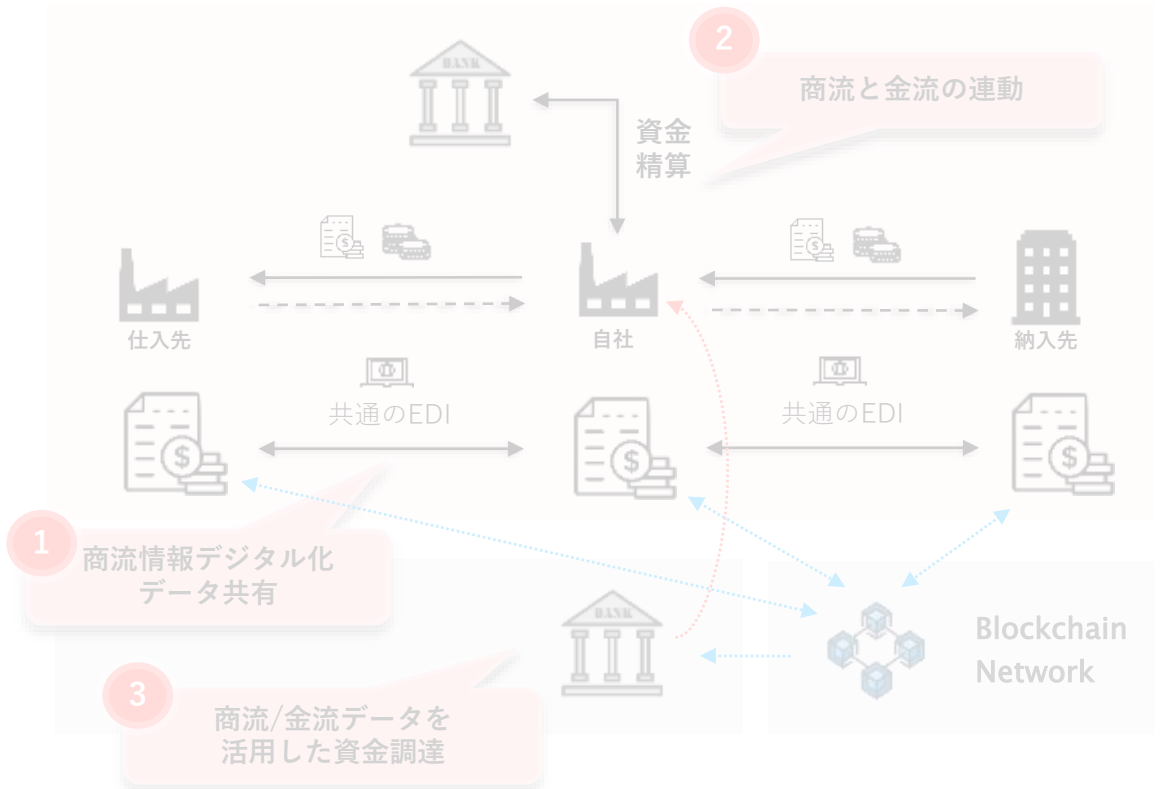
商流



金融



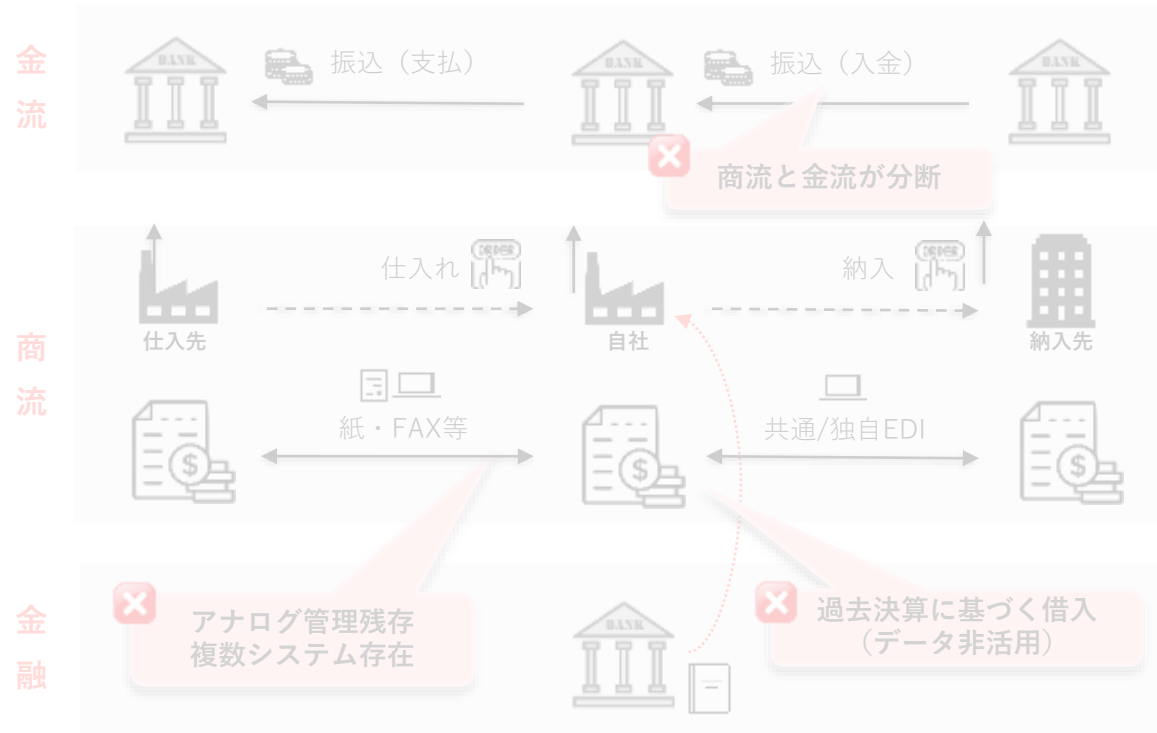
目指す将来像



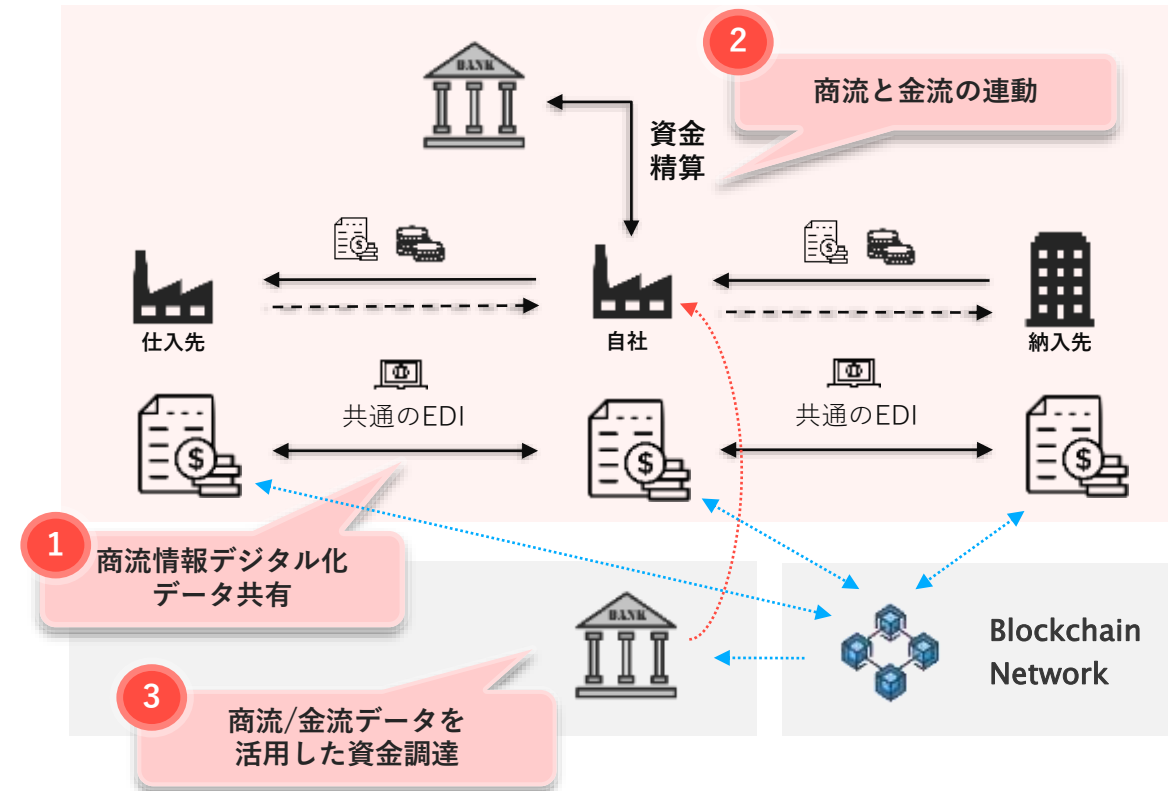
商流・金流・金融の一気通貫でのデジタル化

- 商流・金流の一体化 ① & ② : 照合の不要化や商流の状態変化をトリガーにした自動支払など
- 商流データを活用したファイナンス ③ : 商流/金流データを活用した迅速・適正な資金調達

現在の姿



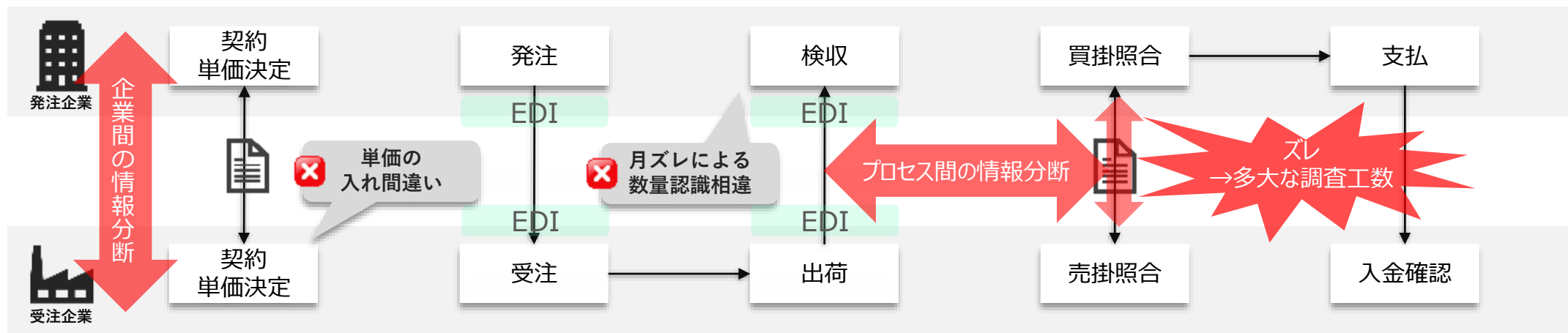
目指す将来像



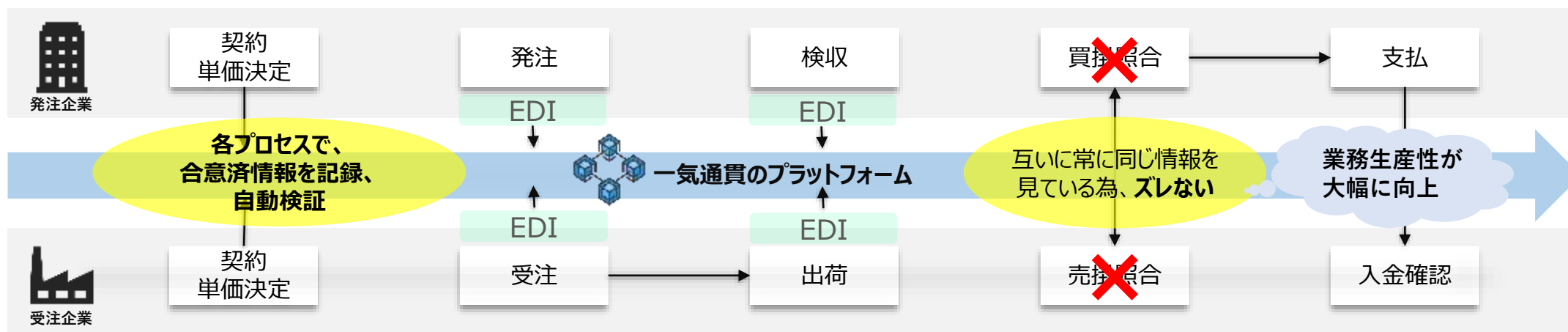
新しい価値 ～商流・金流の融合～



Before



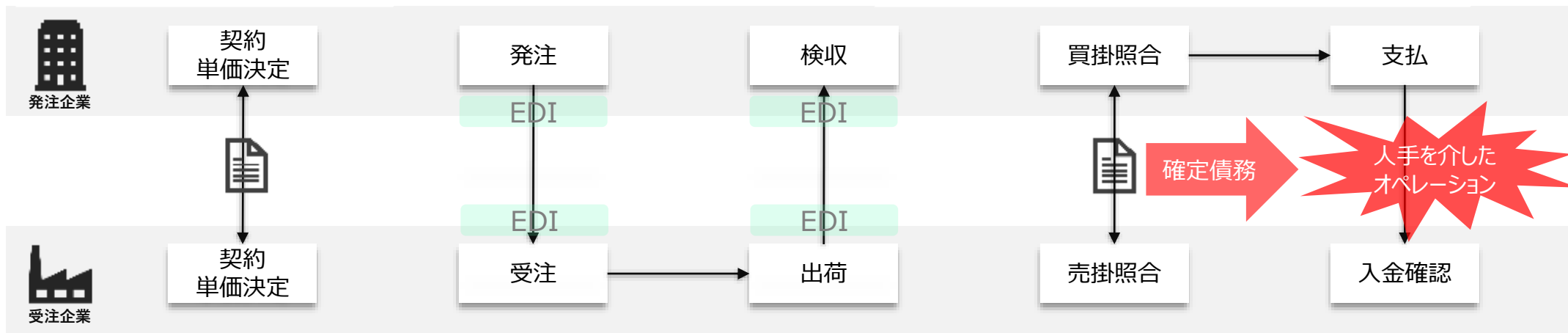
After



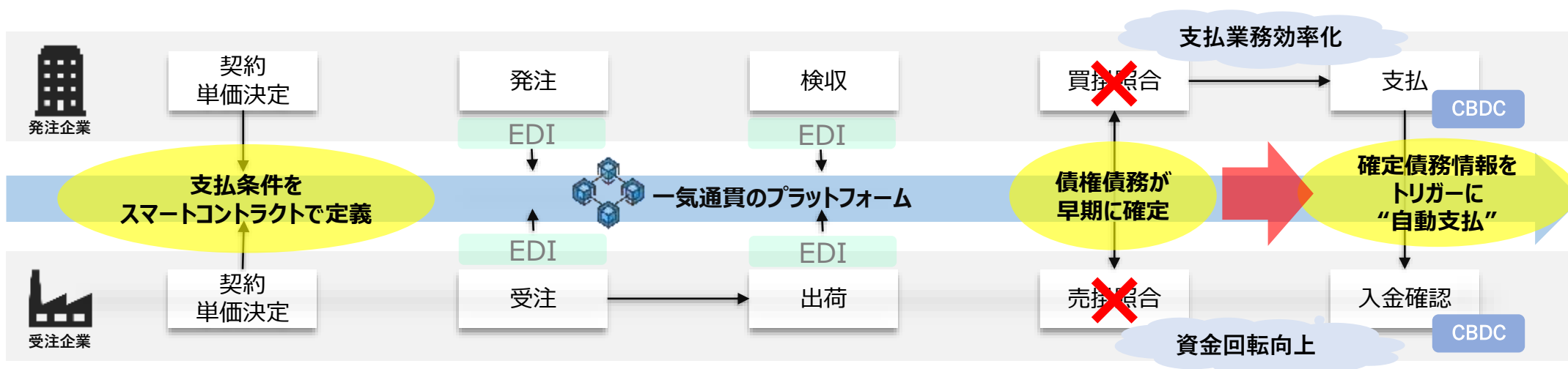
新しい価値 ～商流・金流の融合～



Before



After



企業の声 ～デジタル通貨への期待・懸念～

期待

1. 業務平準化・効率化

検収後の都度払いになると、業務が平準化され、処理上も分かり易くなる

2. サプライチェーン全体の資金回転の向上

仕入先含め資金回転が早まることには期待できる

懸念

3. 企業の対応力

弊社規模の会社が対応できるか不安。セキュリティ面の評価等、チェックできる人がいない。維持コストも不安

4. 二重管理の負荷

銀行口座とデジタル通貨の資金移動の手間が懸念

5. 資金効率への懸念

現預金とデジタル通貨で資金分散することで、資金効率が悪くなるのではないか



「B2C」「B2E」領域でのポテンシャル

約7兆円

XX

トヨタ国内販売店売上推計

550万人

自動車業界の関連人口

TOYOTA Walletのコンセプト

”人々とサービスをつなぎ、移動をより自由に、日々の生活をより楽しくするモバイルアプリ”

決済を、もっとかんたんに

多彩な決済手段を一つのアプリで提供します
これさえあれば、どこでもキャッシュレス決済ができます



移動を、もっとシームレスに

様々なモビリティサービスを一つのアプリ/IDで提供します
予約も決済も愛車管理もTOYOTA Walletで完結します

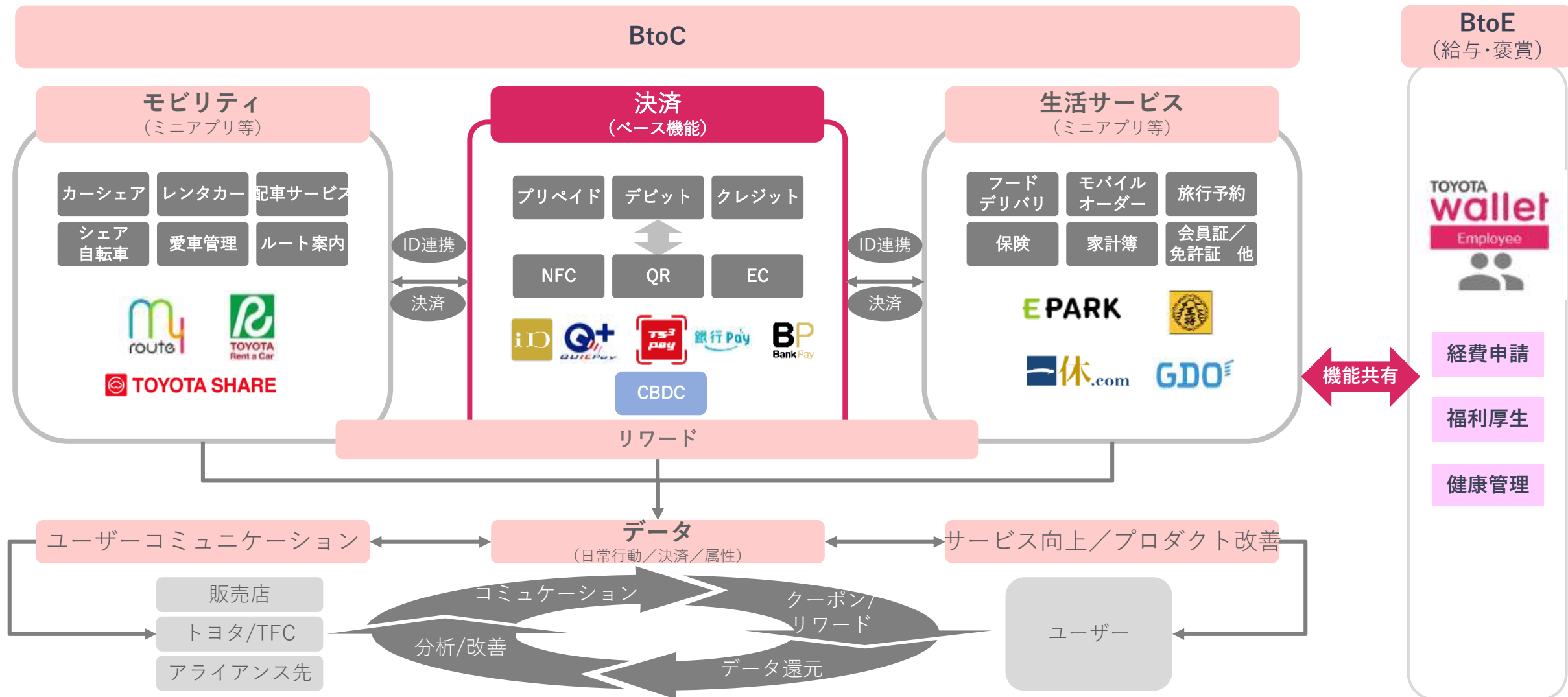


身近なサービスを、もっと便利に

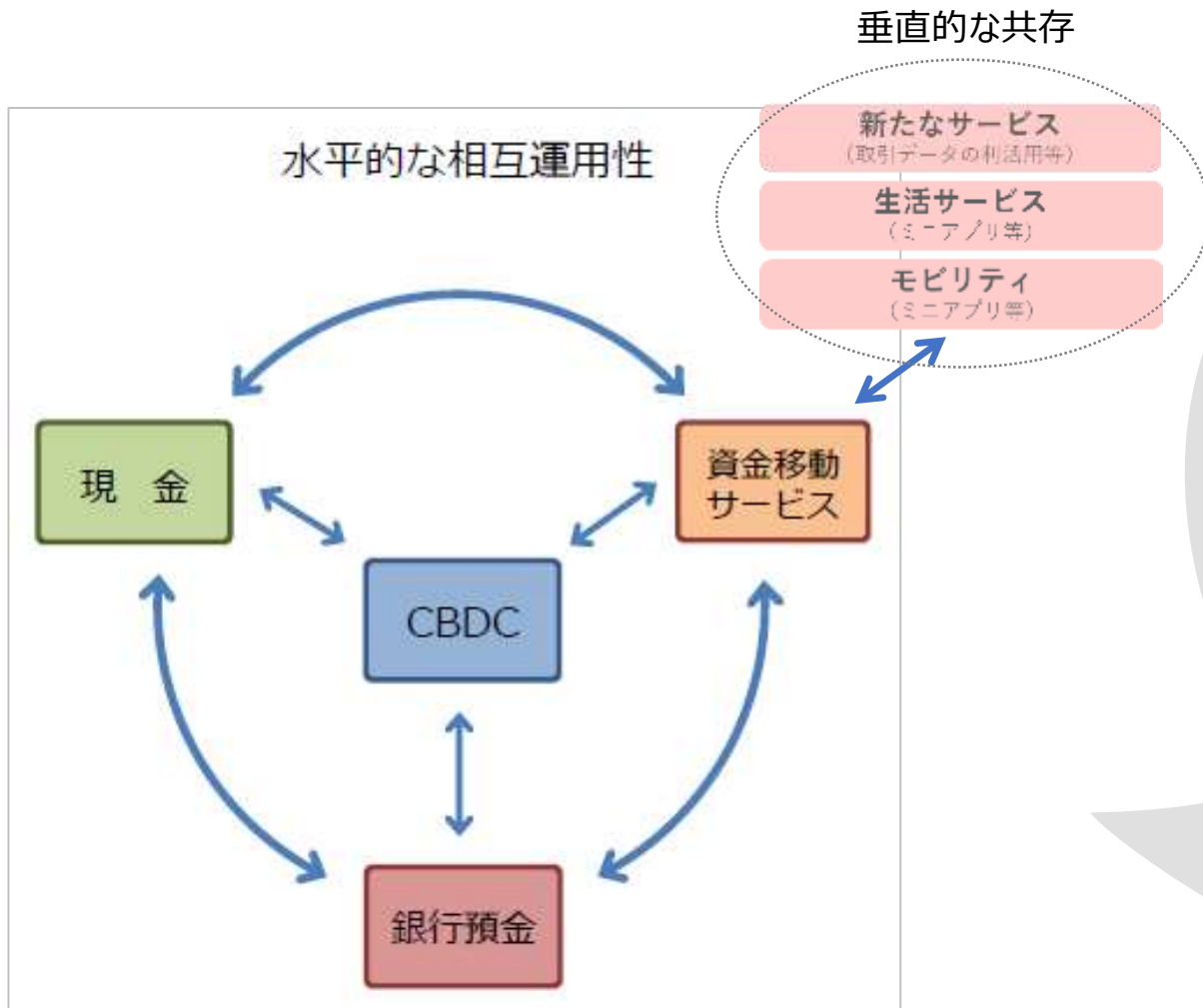
生活に身近なサービスを、一つのアプリ/IDで提供します
好みに合わせて様々なサービスが使えます

TOYOTA Walletにおける決済手段の共存

- お客様とトヨタをつなぎ、販売にも貢献する「デジタルコミュニケーションツール」
- トヨタのモビリティサービスの提供と、非トヨタ業者とのアライアンスを進め、お客様に新たな利用体験を提案



民間事業者とCBDCの共存



□ 水平的な共存

- CBDCが様々な決済手段と共存しながら、その「橋渡し」をすることが重要

⇒ ユーザー体験の一層の向上
⇒ 日本銀行様、民間事業者が共に新しいサービスの形を作り上げていく



(出典) 2021年10月15日 日本銀行 「中央銀行デジタル通貨に関する日本銀行の取組み」 P20
※右上段は追記

CBDCへの期待

1

「誰も取り残されない」仕組み

- ・ IT人材が不足している中小企業でもハードルなく使えるUI/UX
(デジタル化で後回しにさせない)

2

「2重管理」の回避

- ・ 既存マネーとのシームレスに相互交換
- ・ CBDCと既存マネーへの資金分散の回避

3

「クロスボーダー取引」への対応

- ・ 日本円のCBDCと各国通貨とのシームレスな交換・送金
(海外取引の比重が大きいグローバル企業の利便性向上)

4

民間の「追加サービス」を支える強靱なシステム

- ・ 新しい価値をもたらすマイクロペイメントに対応できる処理能力
- ・ サービスの発展に対応できる拡張性

5

「当たり前」の意識を変える情報発信

- ・ 個人・企業が「当たり前」と思っている商慣習からの脱却
- ・ 民間と協調した「新しい価値」の継続的情報発信

ユニバーサル
アクセス

相互運用性

セキュリティ

強靱性